



WM500 ワイヤレス リモート ト スピーカ マイク PMMN4127_ ユーザー マニ ュアル

1 月 2023 年

© 2023 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved



MN006538A01-AH

Accessory Manager アプリの概要

Accessory Manager アプリをダウンロード、インストールして、今後発表されるソフトウェア アップグレードや新機能リリースをご確認ください。

初めて使用する前に、Accessory Manager をインストールして、アクセサリのファームウェアを最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。



安全と法律

このセクションでは、本製品の安全と法律情報について説明します。

認定マーク



知的財産および規制に関するご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータプログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および図案化された M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) に車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE

指令で規定されるとおり、この車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービスセンターに問い合わせる必要があります。

免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があります。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2023 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

ユーザーへの通告 (FCC およびカナダ産業省)

この機器は、次の条件により、FCC 規則パート 15 およびカナダ産業省ライセンス免除 RSS に適合しています。

- この機器は有害な干渉を発生しません。
- この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。
- Motorola Solutions による明示的な承認なくして本機器に変更または改変を加えた場合、本機器を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

適合宣言

Per FCC CFR 47 Part 2 Section 2.1077(a)



責任者

名前: Motorola Solutions, Inc.

住所: 2000 Progress Pkwy, Schaumburg, Il. 60196, U.S.A.

電話番号: 1-800-927-2744

ここに以下の製品:

モデル名: **WM500**

が以下の規制に適合していることを宣言します。

FCC Part 15、subpart B、section 15.107(a)、15.107(d) および section 15.109(a)

Class B デジタル デバイス

パーソナル コンピュータの周辺機器として、このデバイスは FCC の Part 15 に適合します。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。

- 1 この機器は有害な干渉を発生しません。

- 2 この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。



注：

この機器は、テストの結果、FCC 規則 Part 15 に基づく Class B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないようにするために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の 1 つ以上の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に相談してください。

携帯型業務用無線機の RF エネルギー被曝の認識および製品の安全性に関するガイド



注意：

本製品をご使用になる前に、無線機に同封されている製品の安全性と RF 被曝に関する冊子に記載されている安全な使用に関する操作説明をお読みください。安全にお使いいただくための重要な操作説明と、RF エネルギーの認識や RF エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報も記載されています。



注：本機は、お使いになられる方が RF エネルギー被曝可能性を認識し、国または国際的に定められたさまざまな規制の要件を満たすように電磁波の影響を抑制できる職場もしくは管理された用途での使用を前提にしています。

該当する RF 被曝限度を継続的に準拠するには、Motorola Solutions 認定の付属アンテナまたは交換用アンテナ、バッテリーおよびアクセサリのみを使用してください。

RF エネルギー被曝の意味、および制定されている RF 被曝制限への準拠を保証するために放射を管理する方法の詳細については、次の Web サイトを参照してください。

- <https://www.fcc.gov/>
- <http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf11467.html>
- <http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf01904.html>
- <https://www.osha.gov/>
- <https://osha.europa.eu/en>
- <http://www.who.int/peh-emf/project/en/>

被曝要件に関する追加のユーザー トレーニング情報については、次の Web サイトを参照してください。

- https://www.motorolasolutions.com/en_us/about/company-overview/corporateresponsibility/governance-and-policies/wireless-communication-and-healthfaqs.html
- <http://learning.motorolasolutions.com/>

聴覚の安全性

音源を問わず、大音量の音に長時間さらされた場合、聴力が一時的または恒久的に影響を受ける場合があります。無線機の音量が大きいとそれだけ、短時間で聴力が影響を受けます。大音量の音による聴覚障害は、最初は自覚症状がない場合があります、その影響は累積的である可能性があります。聴力を保護するため、次の点をお守りください。

- 必要最低限の音量で使用してください。
- 周囲の音が大きいため聞き取りにくい場合にのみ、音量を上げてください。
- ヘッドセットまたはイヤピースを装着する前に、音量を下げてください。
- 長時間、大音量でヘッドセットやイヤピースを使用しないでください。
- ヘッドセットやイヤピースを使わずに無線機を使用する場合、耳に直接スピーカを当てないでください。
- 不快な音が聞こえる、耳鳴りがする、または声が聞こえづらい場合は、ヘッドセットまたはイヤピースを通じて無線機の音を聞くのを止め、聴覚について医師の診断を受けてください。音量レベルを変更するには、『無線機製品の安全に関するリーフレット』または『Customer Programming Software (CPS) 向け監視用特大音量 (xL) キットの構成』を参照してください。

重要な情報

- アクセサリは、0°C (32°F) 未満または 45°C (113°F) を超える温度で充電しないでください。
- アクセサリは直射日光に当てないでください。また、駐車した車の中など温度が 0°C (32°F) 未満になるか 45°C (113°F) を超える可能性のある場所で保管しないでください。アクセサリは直射日光に当てないでください。また、駐車した車の中など温度がこの範囲を超える可能性のある場所で保管しないでください。
- 高温下でアクセサリを完全充電状態にて保管すると、内部バッテリーの寿命が恒久的に低下することがあります。
- 低温下ではバッテリーの寿命が一時的に短くなります。
- バッテリーの恒久的な容量損失を最小限に抑えられるように、RSM は -10°C (14°F) ~ 30°C (86°F) の温度範囲で保管する必要があります。



警告：

- 怪我を防止するため、RSM を分解、穿孔、粉碎しないでください。この行為は、バッテリーの短絡の原因となる可能性があります。
- RSM を熱や火にさらしたり、投げ入れたりしないでください。
- RSM を生活廃棄物として廃棄しないでください。
- オーディオジャックと USB 充電ポートに水を入れないでください。オーディオジャックや USB 充電ポートに水が入った場合は、RSM を振って水を取り除いてください。使用しないときは、オーディオジャックと USB 充電ポートを必ずダストキャップで覆ってください。

オープンソースソフトウェアの法定通知

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。ライセンス、認定、必要な著作権表示、およびその他の利用条件の詳細については、<http://businessonline.motorolasolutions.com> にアクセスしてください。

[Resource Center]→[Product Information]→[Manual]→[Accessories]→[Remote Speaker]→[Microphone] の順に移動してください。

サービスと保証

クリップ以外のリモート スピーカ マイク (RSM) は修理できません。RSM は、標準の Motorola Solutions の 1 年間の限定保証の対象です。

保証の除外

Motorola Solutions は、製品、アクセサリ、バッテリー、または部品の設置、メンテナンス、またはサービスを保証しません。

Motorola Solutions は、製品に接続されている、または製品とともに使用されている Motorola Solutions によって提供または製造されていない、付属機器または周辺機器 (具体的な例としては、バッテリー、充電器、アダプタ、電源など) に起因する問題または損傷に対して一切の責任を負いません。Motorola Solutions が提供していない付属機器または周辺機器で本製品を使用する場合、Motorola Solutions は本製品/周辺機器の組み合わせの動作を保証しません。Motorola Solutions は、このような組み合わせで本製品が使用され、Motorola Solutions が本製品に不具合がないと判断した場合、いかなる保証請求も受け入れません。製品を開いたり分解したりすると、ただちに保証が無効になります。Motorola Solutions は、認定されていない担当者による不適切な設置に起因するいかなる損傷についても、一切責任を負いません。

推奨される RSM の装着位置

図 1: 推奨される装着位置



注: パフォーマンスを向上させるには、RSM とデバイスを同じ側に装着してください。

目次

Accessory Manager アプリの概要	2
安全と法律	3
認定マーク.....	3
知的財産および規制に関するご注意.....	3
ユーザーへの通告 (FCC およびカナダ産業省).....	4
適合宣言.....	4
携帯型業務用無線機の RF エネルギー被曝の認識および製品の安全性に関するガイド.....	5
聴覚の安全性.....	6
重要な情報.....	6
オープンソースソフトウェアの法定通知.....	6
サービスと保証	7
保証の除外.....	7
推奨される RSM の装着位置.....	7
章 1: RSM の概要	9
1.1 RSM 互換性.....	11
章 2: ご使用の前に	13
2.1 バッテリーの充電.....	13
2.2 ステータス表示.....	13
2.3 RSM のペアリングまたはペアリング解除.....	14
Bluetooth を使用した RSM のペアリング.....	14
NFC を使用した RSM のペアリング.....	15
RSM のペアリング解除.....	15

章 1

RSM の概要

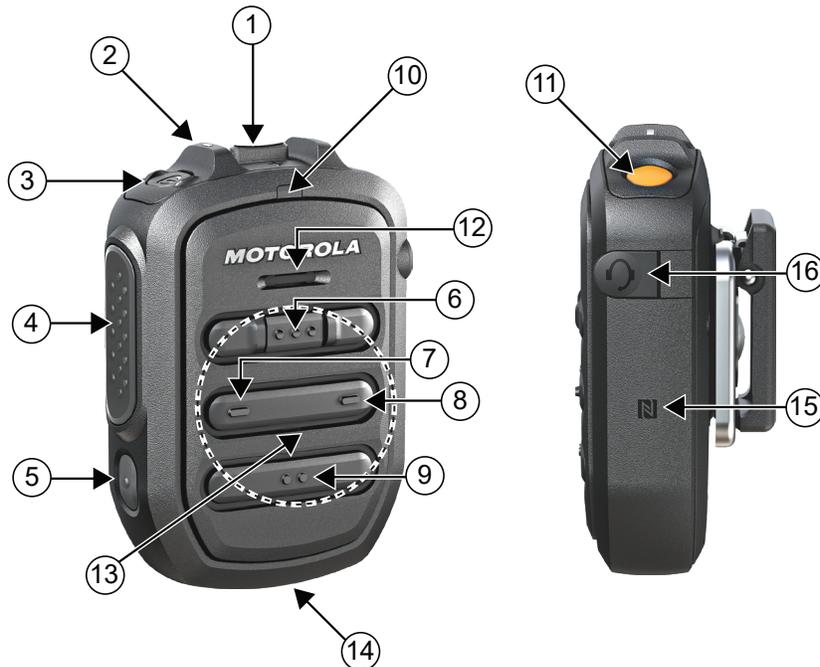


表 1: RSM の概要と説明

ラベル	説明
1	音量の切り替え
2	電源インジケータ
3	電源ボタン
4	プッシュトゥートーク (PTT) ボタン (グループ通話用) PTT 通信は、グループに送信することも、個々のユーザーに送信することも可能です
5	多機能 (MFB) ボタン 以下の複数の機能を使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続されていない状態で言語を変更する • 着信時に通信に応答する • 着信時に通信を拒否する • 進行中の通信を終了する

ラベル	説明
	<ul style="list-style-type: none"> アクティブな通信中 (Kodiak /通信) にマイクをミュート/ミュート解除する。  注: MFB ボタンは TLK シリーズでは使用できません。
6	P1 プログラム可能ボタン ホストまたは WAVE アプリケーションで設定された機能。 WAVE のデフォルト機能: WAVE 操作ステータス メッセージング (OSM)
7	P2 プログラム可能ボタン ホストで設定された機能で、WAVE アプリケーションにはない機能。 WAVE のデフォルト機能: チャンネル ダウン
8	P3 プログラム可能ボタン ホストで設定された機能で、WAVE アプリケーションにはない機能。 WAVE のデフォルト機能: チャンネル アップ
9	オーディオ/Bluetooth インジケータ ホストまたは WAVE アプリケーションで設定された機能。 WAVE のデフォルト機能: WAVE OSM
10	オーディオ/Bluetooth インジケータ
11	緊急ボタン
12	マイク
13	スピーカ
14	充電ポート
15	NFC 位置
16	オーディオ ジャック



注:
 操作ステータス メッセージ (OSM) には、WAVE アプリケーションでの事前設定が必要です。
 応答、拒否、通信の終了、およびマイクのミュート機能は、無線機には適用されません。
 今後、プログラム可能な機能がさらに WAVE アプリケーションに追加される場合があります。
 詳細については、『Kodiak ユーザー ガイド』を参照してください。

表 2: WM500 RSM のボタン操作

ボタン	状態	短押し	長押し (1.5 秒以上)	超長押し (3 秒以上)
電源	オフ	N/A	電源オン	ペアリングに移行

ボタン	状態	短押し	長押し (1.5 秒以上)	超長押し (3 秒以上)
	オン	動作確認	N/A	電源オフ
PTT	接続済み	Kodiak グループ通話用の PTT		
	未接続	Kodiak ペアリング	N/A	N/A
電源 + PTT	オフ	N/A	N/A	電源オンおよび PDL クリア
電源 + 通話ボタン	オン	N/A	N/A	ダーク モードを開始/終了
MFB	未接続	言語を切り替え	N/A	N/A
	着信	電話に応答	通話を拒否	N/A
	通話受け付け	マイク ミュート	通信を終了	N/A
音量 +	接続済み	音量を 1 段階上げる	音量を上げる	
	最大音量時	音量最大トーン		
音量 -	接続済み	音量を 1 段階下げる	音量を下げる	
	最小音量時	音量最小トーン		

1.1

RSM 互換性

PMMN4127 に適合する無線機またはデバイスのリスト:

- LEX L11
- TLK 100
- TLK 150
- EVOLVE
- SLN 1000
- BYOD Android (9.1.1 以降でリリースされたアプリ)
- MOTOTRBO ION には、WM500 ファームウェア R03.00.00 (R03) 以降が最低限必要となります
- R7 には、WM500 ファームウェア R04.00.00 (R04) またはそれ以降が必要となります
- MXP600 には、WM500 ファームウェア R04.00.00 (R04) またはそれ以降が必要となります

表 3: 互換性がある部品およびアクセサリ

部品番号	説明
PMLN7560_	透明チューブ付き受信限定イヤピース
42009312001	ベルト クリップ
4205823V01	
CB000756A01	USB-C ケーブル (1m)

これらのアクセサリは、Kodiak ブロードバンド PTT 対応デバイスとペアリングできます。現在、サポートされている Kodiak 機能は操作ステータス メッセージングです (今後、機能が追加される予定です)。セットアップ方法については、『Kodiak ユーザー ガイド』を参照してください。



注：

MAC アドレスは、個々のボックスの上部、およびベルト クリップの後ろの QR コード内にあります。追加の MAC アドレス ラベルは、個々のボックスの内側にあります。

新しい無線機および機能をサポートするには、WM500 ファームウェアが最新バージョンにアップグレードされていることを確認します。互換性のある無線機の全リストについては、WM500 オンライン マニュアルを参照してください。

章 2

ご使用前に

リモート スピーカ マイク (RSM) の使用方法に関する基本情報をよく理解してください。

2.1

バッテリーの充電

手順:

- 1 USB 充電ケーブルを リモート スピーカ マイク (RSM) に接続します。
- 2 充電ケーブルを USB 電源に接続します。



重要：電池切れ状態を防止するために、ただちに RSM を充電してください。

表 4: 充電インジケータの動作

電源インジケータ	説明
赤色の点滅	バッテリー残量が少なくなっています。
赤色の点灯	バッテリーが充電中です。
緑色の点灯	バッテリーは完全に充電されています。
緑色の点滅	90% 以上充電されています。
赤色の速い点滅	充電エラー。

2.2

ステータス表示

リモート スピーカ マイク (RSM) のステータス表示については、次の表を参照してください。

表 5: オーディオおよび Bluetooth ステータス表示

オーディオ/Bluetooth 表示	説明
青色の点滅	ペアリングに移行
青色の点灯	切断済
青色の 2 回点滅 (1 回)	接続済み
赤色の点灯	マイクがミュートされました
緑色の点滅	着信の受信

RSM の詳細ステータスを確認するには、[電源] ボタンを押します。

表 6: RSM ステータス要求表示

インジケータ	ステータス	説明
オーディオ/Bluetooth	青色の点滅	ペアリングに移行
	青色の 2 回点滅	接続済み
電源	緑色の 2 回点滅	バッテリー残量が高
	黄色の 2 回点滅	バッテリー残量が中

2.3

RSM のペアリングまたはペアリング解除

前提条件: RSM がオフになっていることを確認します。

Bluetooth を使用した RSM のペアリング

手順:

- 1 RSM の電源がオフになっている間に、「電源オン」の後に「ホストを検索しています」という音声流れ、ペアリングモード中に青色の LED が 90 秒間点滅するまで電源ボタンを押し続けます。
- 2 互換性のあるデバイスで、Bluetooth リストから **WM500_xxxx** を検索して選択します。
 デバイスが正常にペアリングされると、音が鳴り、RSM からの音声プロンプトにより、デバイスが「接続された」ことが示されます。
- 3 デバイスに応じて、次の操作を実行します。

使用中のデバイス	実行する操作
Android デバイス	ステップ 2 以降の操作は不要です。
iPhone	a Bluetooth リストから RSM を選択します b もう一度ペアリングします
MXP600	ステップ 2 以降の操作は不要です。
MOTOTRO ION	無線機のディスプレイに、RSM との別のペアリング要求が表示されます。プロンプトが表示されたら、[ペアリング] をタップします。成功すると、RSM から音が鳴ります。
R7	ホストが接続を要求していることを示す「呼出」トーンが聞こえたときに、MFB ボタンを押して接続プロセスが開始します。



注: WM500 は、互換性のあるデバイスに応じて、さまざまなペアリング方法をサポートします。TLK100 または TLK150 を使用している場合は、『Wave Portal User Guide』で Bluetooth ペアリング プロセスについて確認してください。SLN1000 を使用している場合は、『Nitro Portal User Guide』で Bluetooth ペアリング プロセスについて確認してください。

NFC を使用した RSM のペアリング

手順:

- 1 **[電源]** ボタンを押したままにして、「電源オン」音声プロンプト、続いて「ホストを検索しています」音声プロンプトが再生され、青色の LED が点滅するまで待ちます。
- 2 RSM と互換性のあるデバイスの両方で、NFC 位置を合わせます。
- 3 互換性のあるデバイスで、ペアリングが成功した表示がないか確認します。

RSM のペアリング解除

手順:

電源 ボタンと **PTT** ボタンを同時に押し続けます。

- 青色の LED が点滅し、RSM からの音声プロンプトにより、ペアリングされたデバイスが「クリアされた」ことが示されます。



注：別のペアリング プロセスを開始する前に、必ず Bluetooth ホストと RSM のペアリングを解除して、ペアリングされたデバイスが「クリアされている」ことを確認します。